

# 南海トラフ巨大地震等による 広島県地震被害想定結果について

令和2年12月16日（水）

広島県危機管理課

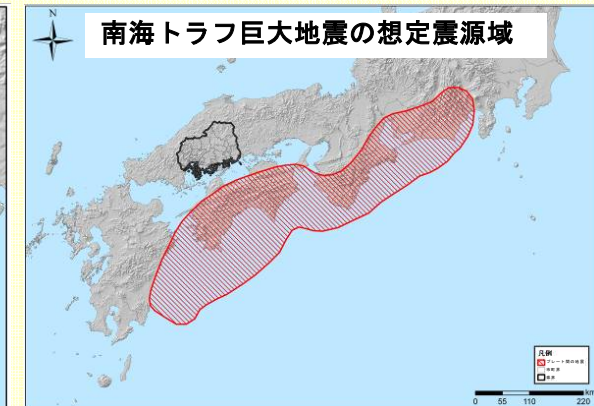
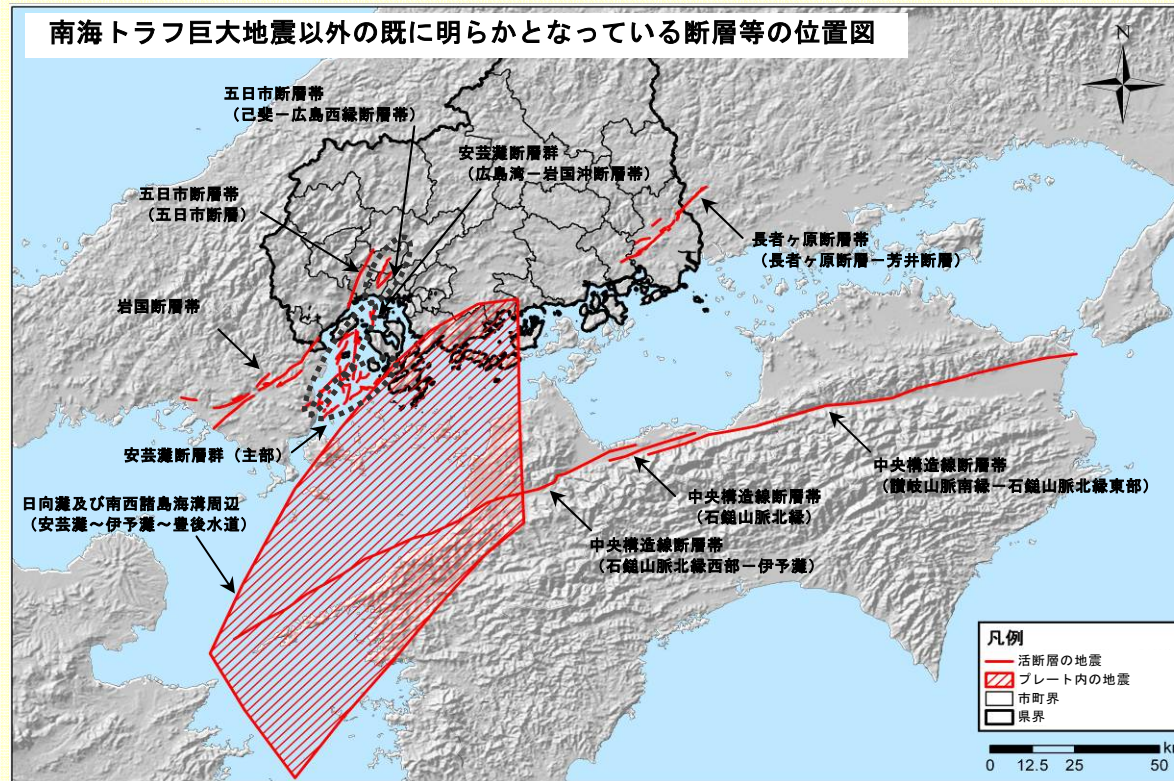
# 南海トラフ巨大地震等による広島県地震被害想定結果の概要

## 1 目的

- ◆ 地震被害の全体像、被害規模を明らかにし、**県や市町の地震防災・減災対策の基礎資料とする。**
- ◆ 防災・減災対策による**具体的な被害軽減効果を示すことにより、**県民の防災意識の向上を図る。

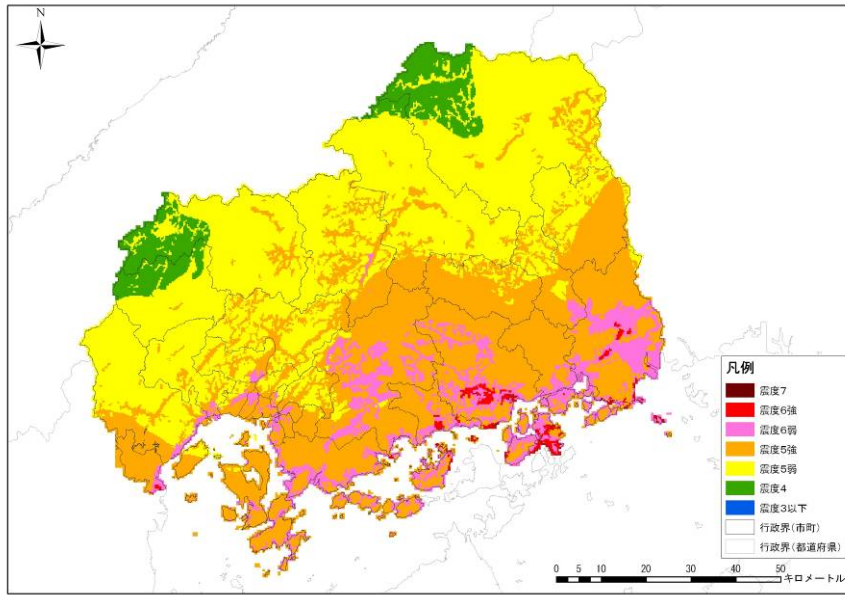
## 2 想定地震の考え方

- ◆ 想定規模  
各想定地震ごとに、**あらゆる可能性を想定した最大規模の地震・津波とする。**
- ◆ 想定地震（既に明らかとなっている断層等を震源とする **11 の地震**と市町役場直下を震源とする **23 の地震**）



### 3 想定される地震被害（県内被害が最大と想定される地震被害）

#### ◆ 南海トラフ巨大地震の震度分布

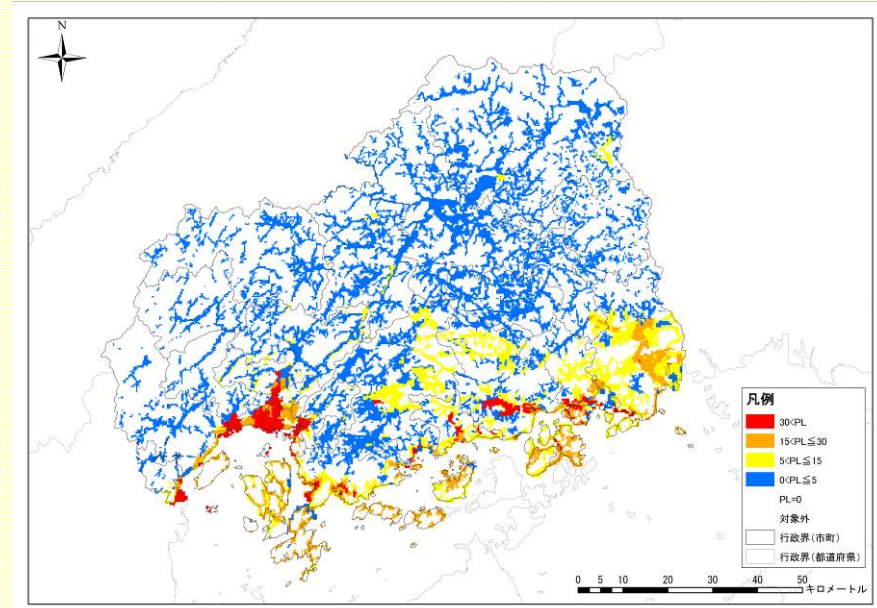


※ 250m×250mメッシュの単位で想定した震度分布

#### 市町別の最大震度

市町名	最大震度	市町名	最大震度
広島市	6弱	安芸高田市	6弱
呉市	6弱	江田島市	6弱
竹原市	6強	府中町	6弱
三原市	6強	海田町	6弱
尾道市	6強	熊野町	5強
福山市	6強	坂町	6弱
府中市	6弱	安芸太田町	5強
三次市	5強	北広島町	5強
庄原市	5強	大崎上島町	6強
大竹市	6強	世羅町	5強
東広島市	6弱	神石高原町	5強
廿日市市	6弱		

#### ◆ 南海トラフ巨大地震の液状化危険度分布



※ 250m×250mメッシュの単位で想定した液状化危険度分布（震度5弱以上の地域）

#### 液状化が起こる可能性が高い（液状化危険度PL>15）地域の面積及び面積割合

市町名	面積及び面積割合※		市町名	面積及び面積割合※	
	面積 (ha)	割合 (%)		面積 (ha)	割合 (%)
広島市	7,786	8.6	安芸高田市	0	0.0
呉市	5,237	14.8	江田島市	1,787	17.7
竹原市	1,064	9.0	府中町	404	38.7
三原市	2,544	5.4	海田町	375	27.2
尾道市	5,127	18.0	熊野町	3	0.1
福山市	6,321	12.2	坂町	592	37.8
府中市	313	1.6	安芸太田町	0	0.0
三次市	0	0.0	北広島町	0	0.0
庄原市	0	0.0	大崎上島町	1,212	28.0
大竹市	864	11.0	世羅町	0	0.0
東広島市	762	1.2	神石高原町	0	0.0
廿日市市	1,419	2.9			

※250m×250mメッシュによる算定値

地震は、いつどこで起こるか分からない。想定より大きな地震や津波が発生することもあることを忘れないようにね。



◆ 津波浸水想定 (「南海トラフ巨大地震」, 「安芸灘～伊予灘～豊後水道の地震」, 「瀬戸内海域活断層の地震」による津波の浸水想定)

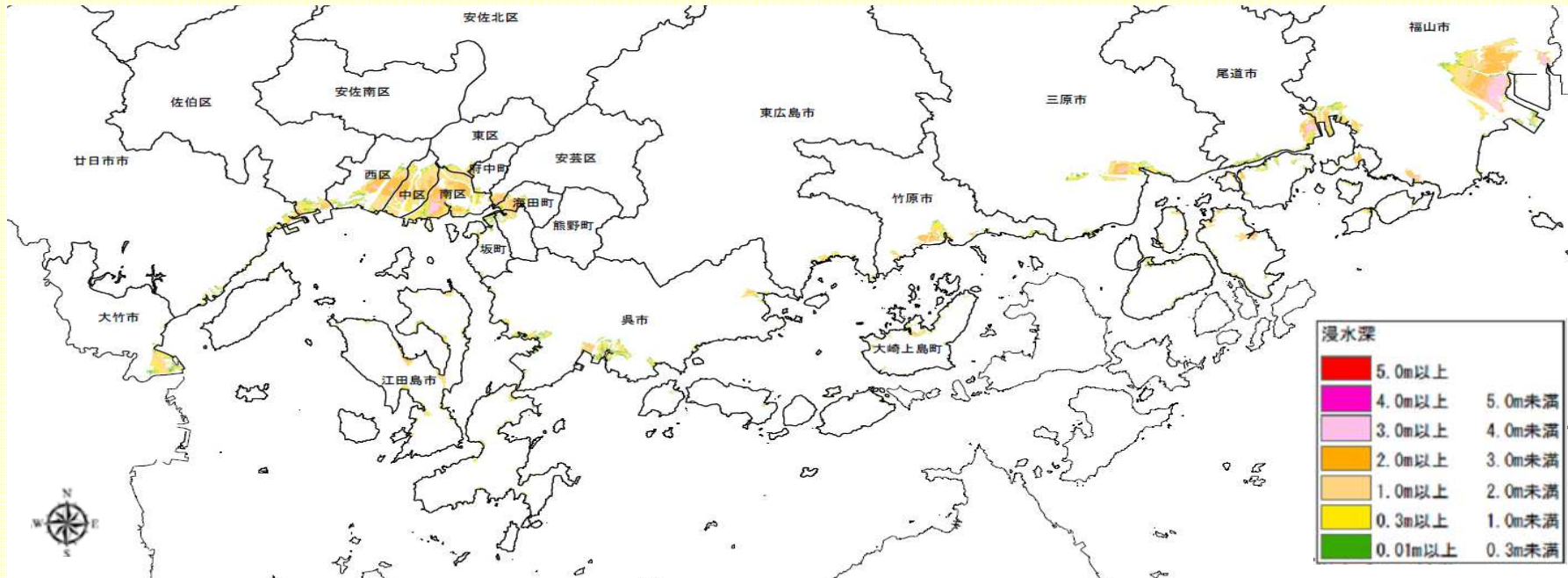


表 市町ごとの浸水面積及び最高津波水位等

市町名	浸水面積 (h a)					最高津波水位		最大波到達 時間 (分)	津波影響開始 時間 (分)
	1 cm以上	30 cm以上	1 m以上	2 m以上	5 m以上	(T. P. m)	うち津波の高さ(m)		
広島市	3,817	3,463	2,432	1,188	2	3.6	1.5	246	37
呉市	1,218	864	272	57	1	3.6	1.6	240	12
竹原市	426	367	205	109	—	3.1	1.3	347	20
三原市	719	593	286	140	—	3.2	1.4	332	20
尾道市	1,191	948	479	266	1	3.5	1.4	312	20
福山市	3,355	3,037	2,326	1,438	2	3.3	1.2	270	13
大竹市	377	304	136	13	—	3.4	1.4	219	26
東広島市	113	90	39	16	—	3.2	1.3	370	25
廿日市市	343	237	78	17	1	3.6	1.6	218	26
江田島市	593	516	239	57	—	4.0	1.9	251	31
府中町	68	56	22	—	—	—	—	—	—
海田町	250	238	176	46	—	3.6	1.5	246	57
坂町	125	81	16	5	—	3.6	1.5	243	49
大崎上島町	252	191	66	11	—	3.1	1.2	372	29
合計	12,847	10,987	6,770	3,364	8	—	—	—	—

◆ 南海トラフ巨大地震の被害想定

○ 建物被害（被害要因別）

全壊棟数	液状化	揺れ	津波 (破堤に伴う浸水被害も含む)	土砂災害	火災	合計
	39,560棟	14,501棟	15,090棟	59棟	351棟	69,561棟

○ 人的被害（被害要因別）

区分	建物倒壊	津波 (破堤に伴う浸水被害も含む)	土砂災害	火災	合計
死者数	926人	13,828人	4人	1人	14,759人
負傷者数	16,774人	5,436人	5人	4人	22,220人
うち重傷者数*	1,567人	1,855人	3人	1人	3,426人

\* 重傷者とは、1ヶ月以上の治療を要する見込みの者

○ ライフライン被害

上水道被害 (断水人口)	107万人	(断水率 40%)
下水道被害 (支障人口)	78万人	(支障率 34%)
電力被害 (停電軒数)	12万軒	(停電率 7%)
通信被害 (固定電話不通回線数)	8万回線	(不通率 7%)

○ 避難者

避難所避難者	避難所外避難者	合計
39万人	20万人	59万人

○ 災害廃棄物等

災害廃棄物	津波堆積物 (破堤に伴う浸水被害も含む)
497万トン	339 ~ 720万トン

○ 経済被害

直接被害	建物被害	ライフライン被害	港湾施設被害	災害廃棄物等処理	その他*	合計
	3.7兆円	0.9兆円	0.6兆円	0.1兆円	3.6兆円	8.9兆円

\* その他被害：道路、河川や海岸等の土木施設、農業用施設、家庭用品など

間接被害	生産低下**1 (発災後5年分)	港湾機能停止**2	人流の移動とりやめ**3	波及的被害**4	合計
	1.6兆円	1.0兆円	0.3兆円	0.9兆円	3.7兆円

\* 小数点第2位を四捨五入した関係で、合計が合わない

\*\*1 生産低下：建物被害等による民間資本の減少と人的被害、失業者の発生による労働力、経済中核性の損失

\*\*2 港湾機能停止：港湾機能が停止することによるバラ貨物の輸出入の停止、コンテナ貨物の迂回による損失

\*\*3 人流の移動とりやめ：人の県外からの入込み及び県内の移動がとりやめになることで生じる観光消費額の減少

\*\*4 波及的被害：当該産業で生じる間接被害額が他の産業に波及する1次波及被害額